

毎週火曜・金曜発行

復興ニュース

35号
2011年
7月29日

発行：気仙市民復興連絡会
大船渡市末崎町字石浜 34-1
<http://kesen-chiku.ecom-plat.jp/>
Twitter @KesenShiminFR

市民の皆様“希望”と“勇気”を！ 7月27日(水)、大船渡・野々田埠頭に客船“飛鳥Ⅱ”が寄港！！

激しい雷雨のなか、飛鳥Ⅱは午前 10 時頃湾内に入り、間もなく寄港。すると、それまで大粒で激しく降っていた雨がピタリと止みました。雨上がりの空の下、大船渡商工会議所女性会のみなさんによる太鼓の演奏、戸田公明大船渡市長、郵船クルーズ代表取締役社長の今崎氏や飛鳥Ⅱ船長等による挨拶や大船渡つばき娘からの歓迎の花束贈呈などの歓迎セレモニーが行われました。

郵船クルーズから義援金授与



大船渡・ガイドの会の皆さん



“歓迎 ようこそ大船渡へ”の大弾幕やのぼり、日本国旗で歓迎したのは“椿の里・ガイドの会”と“しらせ会”のみなさん。ガイドの会のみなさんは、乗船客らに碁石観光ガイド案内を行い、自らも被災し避難所生活をおくる同会の志田裕子さんと田村昭代さんは、皆様からの温かい言葉に感謝。手

をギュッと握られ『わたしはなにもできないけど…』と言葉を詰まらせながら言われたという志田さんは「大船渡まで来てくれたことだけでじゅうぶん嬉しい。勇気や希望、元気をもらえた」そう、笑顔で話してくれました。



歓迎セレモニーでの記念撮影



また、夜には日本を代表するキャンドルアーティストのキャンドルジュンさんが来港。キャンドルジュンさん演出によるキャンドルセレモニーが催され、市民が思い思いのメッセージを書きこんだキャンドルと、ライトアップされた飛鳥Ⅱ客船、そして、乗り上げた防潮堤から海へと戻った大船渡丸と明和丸が“大船渡・海を愛する会”によって美しくイルミネーションされ、飛鳥Ⅱ歓迎ムードを盛り上げていました。

翌朝(7/28)午前 8 時、横浜へ向けて出港した飛鳥Ⅱ。“蛍の光”が流れる中、紙テープが舞い、黄色いハンカチでいつまでもいつまでも船が見えなくなるまでお見送りを。

郵船クルーズの今崎代表取締役社長は、セレモニーで『“飛鳥Ⅱ”は来年、必ず戻ってきます！』と約束してくれました。また、停泊中は市民を乗船体験・中学生船内課外授業なども催されました。



また会える日まで・・・、飛鳥Ⅱありがとう！

家族で吉浜ピクニック♪

7月23日(土)三陸鉄道吉浜駅でトンネルから引き出した鉄道車両を使い、家族で楽しめる子ども向けイベントが催されました。(本紙第33号でも告知させていただきました)

主催は、三陸まるごと体験館(三陸町越喜来町)館長の熊谷満恵さんによるもの。窮屈な避難所生活をしてきた子どもたちやその親御さんにも“思いっきり屋外で楽しんでほしい”“気持ちを明るくしてほしい”との思いから実現に至りました。今回のイベントは震災後はじめて。



みんなでブルーベリー園に行き、ブルーベリー摘みをしたあとは、三鉄車両内に移動して昼食は、熊谷さん手作りの三鉄汁やオニギリを。車掌さんの服に着替えて運転席に座れたり、読み聞かせ団体“おはなしころりん”の絵本読み聞かせや、何が出てくるかみんなで考えながら楽しめる“ふしぎなエプロン”クイズなど、ワクワクドキドキな内容になっていましたよ。そして、摘んだばかりのブルーベリーを使ってクレープづくりも。はじめて作るクレープ、美味しくできたかな？



かえりの会で熊谷さんは集まった子どもたちに『さんてつは止まってしまってるけれど、今日みんながイベントに来てくれたことで“さんてつ、まだまだ元気だぞおお～！”』って伝えられてうれしいです。ひとりで止まってより、みんなに乗ってもらったほうが、電車もうれしいもんね。』と話し、イベントは終了しました。今後もこういったイベントを続けていく予定で、次回は8月頃を予定しているそうです。

東芝パソコン、市民活動団体へ。

気仙市民復興連絡会では、株式会社 東芝さまから寄贈されたパソコンを被災された市民活動団体へ順次お渡ししています。

7/25(月)は点訳活動をしている“美杉会大船渡”の代表笹野のぶ子さんにお渡ししました。家屋が流されパソコンも失った会員の点訳活動のために役立てられます。



「大切につかいます！」

このパソコンが、眼の不自由な方にとってお役にたてる日が楽しみです！

お茶会やっています！

- 7/18(月)住田町・中上団地仮設住宅
- 7/19(火)大船渡市・清水地区民宅
- 7/21(木)大船渡市・蛸ノ浦仮設住宅

にて、お茶会を開催しました。
お茶っこして歌っこして踊りっこ♪



清水地区のお茶会では、“遠野まごころネット”のみなさんと現地で合流し、すいかを提供いただきました。遠野まごころネットさんは、タッピングタッチ活動もされており、話題になっているようです。「タッピングタッチ」とは、指先の腹のところを使って、軽く弾ませるように優しくたた



ガイドの会の熊谷さんはトークが絶妙です！

くことを基本とした統合的でシンプルなケアの技法です。誰にでも簡単にできる心身リラックス法です。心身ともに健康であろうとする内なる力に働きかけて、本来の明るさや優しさを取り戻すことにより、みんなで仲良く生活することの楽しさを思い出させてくれます。やりかたは簡単！指先の腹の部分で肩や腕など左右交互に、軽く弾ませるように叩くだけです。自分でもできるので1日3分だけでも試してみませんか？

NPO 愛知ネット、椿の里・大船渡ガイドの会

住田町仮設住宅での支援活動、行っています。

ゆう
仮住まい 邑サポート(木村・奈良・古山)

住田町・中上団地仮設住宅の隣の集落センターは、地域の方がたくさん集まる場所です。子育て支援サークルも定期的にかけていて、仮設の子供達も参加しています。

7月26日(火)は、年に一回のセンターのお祭り。

地域のひとが中心のお祭りで中学生も運営を手伝っていて、とてもアットホーム。

僕らは風船ヨーヨーとスーパーボールすくいをお手伝い。

たくさんの住田の子ども達がチャレンジして盛り上がり、陸前高田等で被災した仮設の子ども達も地元の子供と一緒に楽しんでいてとても微笑ましい光景を見ることができました。

これからも色々なことを地域のひとと一緒にできたらなと思っています。

どうぞよろしくお願いします！



お友達たくさん作ってね



住民の方と共にヒマワリの苗を植えました

— 編集後記、徒然 —

気仙市民復興連絡会 広報担当:やまぐちなみ

7月某日、遠野市内にある道の駅“風の丘”にて。“復興へ向けて頑張っている人へのメッセージ”として、小さな文字を集めて大きな文字にした大弾幕を見つけたので紹介しますね。

このメッセージの文字は、実は小さな文字で形づくられた集合体。

“小さな文字も、集まれば大きな文字となる。私たちひとりひとりも、小さな力ではあるけれど、この文字のように、いつの日か大きな力となって、復興への道を進んでいけるはず！”

と、いうメッセージがこめられているそうですよ。(ぜひ実物を見ていただきたいと思い紹介させていただきました)



連絡会からのお知らせ

気仙市民復興連絡会では気仙地域における活動団体等の情報収集・発信(助成金情報提供等)を行っていきます。情報を発信したい等、相談等の窓口としてお気軽にご利用下さい。広報活動のお手伝い(取材)も行かせていただきます。お気軽に広報担当までお尋ねください。

◆ 本紙(復興ニュース)の入手方法についてのご案内 ◆

発行は毎週火曜・金曜日です。配布(掲示)場所は下記のとおりです。(7/29 現在)御協力いただいている店舗さま・関係者各位さま、いつもありがとうございます。

【復興ニュース配布場所】(順不同・敬称略)

(陸前高田市)陸前高田市役所(1階ロビー)／瀬沢団地仮設住宅(モビリア)全60戸
マイヤ米崎出張販売所・相野果樹園跡(お花コーナーの後方)

(大船渡市)大船渡市役所([受付]から左に進んだ左手棚)／カメラアホール[大船渡市盛町](1階ホール)
大船渡地区合同庁舎(1階ロビー、1階売店)／大船渡社会福祉協議会(ボランティアセンター)
サン・リア(1階昇りエスカレーター横の棚)／リアスホール[大船渡市](警察官詰め所横の棚)
薬王堂大船渡盛店(レジ裏お知らせコーナー)／薬王堂大船渡店(レジ横L字カウンター端)
マイヤ大船渡インター店(レジ後方ガラス窓沿いのカウンター)／YSセンター(情報コーナー)
福祉の里(情報コーナー1階ロビー)／喫茶・ロリアン[盛町]／ダイマル店頭[盛町商店街]
佐々木荒物店レジ横[大船渡市盛町商店街]／千田薬局[三陸町綾里]
地ノ森団地仮設住宅 全72戸／鳥沢団地仮設住宅(蛸ノ浦小学校) 全47戸／
黒土田団地仮設住宅(綾里中学校)全90戸／永沢仮設住宅(大船渡中学校) 全137戸

(住田町)住田町役場／住田町仮設住宅 [本町団地全17戸／中上団地全63戸／火石団地全13戸]
住田町ボランティアセンター(大股地区公民館)

[復興ニュース]第35号 2011.7.29.

発行 : 気仙市民復興連絡会

Tel&Fax 0192-47-3271

携帯: 080-2801-5352(呼)または広報担当/090-5456-9417(山口<奈>)

kesenshimin.fr@gmail.com <http://kesen-chiku.ecom-plat.jp>

【印刷ご協力】住田町役場「ありがとうございます！」